

市長への手紙 ご意見とその回答(令和5年5月)

質問	<p><u>給食について</u></p> <p>食糧危機が騒がれている昨今ですが、子どもたちの給食にコオロギ製品は使用しないでいただきたいです。コオロギは雑菌が多く、子どもや妊婦には禁忌だと聞きます。そもそも自分も昆虫を食べたくありませんし、子どもたちにも食べさせたくありません。</p> <p>また、自給率を上げるための取り組みなどもぜひ行っていただきたいです。子どもたちの食育にも繋がると嬉しいです。</p> <p>給食の無償化も嬉しいですが、お金を払ってでも安心・安全な食事ができることが一番ではないかと私は思います。無農薬等だとなお嬉しいです。</p>
回答	<p>本市の学校給食は茨城県から配置された栄養教諭等が献立を作成しており、国の基準に基づいた栄養価や摂取カロリー、食材の価格等を鑑みながら、バランス良く栄養を摂取できるよう心がけております。</p> <p>学校給食へのコオロギ製品の使用については、今後も提供の予定はございませんのでご安心ください。</p> <p>また、使用食材の産地につきましては、使用する時期や価格等の影響により地産地消の難しい期間もございますが、可能な限り地産地消に配慮するとともに児童・生徒の食育に繋がればと考えております。</p> <p>参考までに、本市では昨年度から地場産物の活用推進を目的とした新たな取り組みとして、主な食材全てに茨城県産を使用した献立の日「いばっぺごはんの日」を年2回実施しております。今年度の第1回目は5月11日に実施したところです。</p> <p>最後になりますが、学校給食における有機野菜等の活用につきましては、流通量や価格等の課題もございますが、関係機関と協議しながら模索し、まずは「いばっぺごはんの日」のなかで活用に向けて検討してまいりたいと考えております。</p> <p>【担当:学校給食センター】</p>

質問	<p><u>牛久沼について</u></p> <p>まず「牛久沼」という名前にもやもやします。私は県外から引っ越してきましたが、牛久沼は牛久市だと思っていました。その後、龍ヶ崎市の沼だと知りもったいないと思い、道の駅を作るタイミングで沼の名称変更ができないものかと思いました。それがいかに大変かというのは容易に想像できます。でももし名称変更ができれば、龍ヶ崎市・沼・道の駅の大きな宣伝にもなる</p>
----	---

	<p>と思います。</p> <p>以前は沼での花火大会もあったと地元の方に聞きましたが、そういった行事が復活する予定はあるのでしょうか。道の駅建設をきっかけとして、もっとワクワクする龍ヶ崎市になることを期待しています。</p>
回答	<p>「牛久沼」の名称については、古くは大田沼、あるいはその沿岸の地名をとって佐貫浦や足高浦などと呼ばれていた時代もあったようです。しかし、江戸時代以降は「牛久沼」の名称が一般的に使われるようになったそうです。由来については諸説ございますが、主なものは以下の通りです。</p> <p>【主な由来】</p> <p>①牛久村の南にあることに由来する。</p> <p>②沼の東辺に水戸街道若柴宿があり、行き来する人々が牛久方面の沼を見て「牛久の沼」と言ったことに由来する。</p> <p>③泥が深くて牛をも飲み込んでしまう、午喰沼、つまり、「牛を喰った沼」という金竜寺の伝説に由来する。</p> <p>また、なぜ「牛久沼」が龍ヶ崎市の行政区内にあるのかについては、江戸時代に牛久沼の干拓事業につき込まれた費用を肩代わりしたのが、今の龍ヶ崎市の農民だったという史実が残されています。</p> <p>牛久沼をPRするためにも、名称の変更というご提案は大変興味深いものではございますが、このような歴史的背景を持ち、周辺住民にも古くから親しまれてきた「牛久沼」であるため、まずは牛久沼周辺の5自治体で連携し、それぞれの歴史的史跡等の資源を活用し、例えば牛久沼一周トレイルルートなどを一緒に選定して盛り上げていければと考えております。</p> <p>次に、花火大会につきまして、お聞きしたお話は平成12年に龍ヶ崎市青年会議所が中心となって実施された花火大会のことだと考えられます。</p> <p>近年では、令和4年12月3日に牛久沼水辺公園を会場に「未来をてらす実行委員会」主催による花火大会が開催されております。</p> <p>今後も、牛久沼の自然環境をはじめ、本市の有する魅力ある地域資源を活用したイベントを開催してまいりますので、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>【担当:まちの魅力創造課】</p>

